

平成 30 年度 (公社) 砂防学会講習会 プログラム
「平成 30 年 7 月豪雨による土砂災害の実態と対応策」

1. 日 時

平成 30 年 11 月 26 日 (月) 13:00~17:00

2. 場 所

砂防会館別館 1 階 シェーンバッハ・サボア「木曾」

3. プログラム (敬称略)

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-13:20 砂防学会緊急調査団・調査団長総括説明

砂防学会会長 広島大学大学院総合科学研究科 教授 海堀 正博

第 1 部 平成 30 年 7 月豪雨による土砂災害の実態

13:20-13:40 豪雨の特徴

- ・降雨発生確率等による土砂災害発生危険度の評価

宇都宮大学大学院 森林科学部門 教授 執印 康裕

- ・豪雨度による大雨の評価

静岡大学防災総合センター 客員教授 林 拙郎

13:40-14:44 広島地域の土砂災害

- ・熊野町川角地区 (山に巨石が目立つところでの土石流) 及び

広島市安芸区矢野東地区 (複数本の土石流襲来) (公社) 砂防学会中四国支部長 山下 祐一

- ・坂町小屋浦地区 (砂防堰堤の被災と土砂・洪水氾濫) 広島県砂防課長 課長 山本 悟司

- ・呉市安浦町周辺 (高密度の崩壊・土石流) 及び

東広島地区 (高密度と緩勾配斜面での崩壊・土石流)

(一財) 砂防・地すべり技術センター 加藤 誠章

- ・榎川地区 (無降雨時の土砂流出)

信州大学農学部 教授 平松 晋也

14:44-15:08 四国地区での土砂災害

- ・宇和島・西予地区 京都大学防災研究所附属流域災害研究センター 教授 藤田 正治

- ・高知地域 高知大学農学部 教授 笹原 克夫

15:08-15:20 近畿地域での土砂災害

京都大学大学院農学研究科 教授 小杉 賢一朗

15:20-15:30 休憩

第 2 部 広域的な豪雨災害への対応策

15:30-16:15 実効性のある避難を確保するための対策について

国土交通省水管理・国土保全局 砂防部砂防計画課 課長補佐 瀧口 茂隆

第 3 部 質疑と総括 (総合討論)

16:20-16:56 質疑と総括 (総合討論)

閉会挨拶